

平成27年度第2回向日市地域包括支援センター運営協議会 要点録

開催日時 平成28年3月28日(月) 午後2時から3時10分まで
開催場所 向日市福祉会館 大会議室
出席者 森田委員、内藤委員、木下委員、高桑委員、岡田委員
柴田委員(以上6名)
欠席者 正野委員、小林委員
傍聴者 なし
議事 1 平成27年度向日市地域包括支援センター事業中間報告について
2 平成28年度向日市地域包括支援センター事業方針について
資料 資料1:平成27年度向日市地域包括支援センター事業中間報告
資料2:平成28年度向日市地域包括支援センター事業方針案
参考資料:向日市地域包括支援センター運営方針
内容

本日は、正野会長が欠席のため、森田副会長が代理を務め、議事の進行を担当された。

議事1 平成27年度向日市地域包括支援センター事業中間報告について

(要点)

- 事務局から、資料1により、平成27年度の地域包括支援センターの相談実績や相談の主な内容、介護支援専門員連絡会議や高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会、地域ケア会議の開催状況などについて、平成27年4月から12月末までの実施について中間報告を行った。
- 各地域包括支援センターとも相談実人数は昨年度と大差ないが、延べ相談数は増加傾向にあり、高齢者虐待に関する相談が大幅に増加していることが特徴である。

(主な意見)

- 事務局の説明に対し、委員から次のとおり意見があった。
- 相談方法別の集計では、電話相談に次いで、訪問による延べ相談件数が多いが、ケース毎の訪問回数を示したほうが良いのではないか。
 - 各地域包括支援センターの相談別件数のうち、「介護保険その他保健福祉サービスに関すること」の件数が増えているが、何か理由があるのかという、意見があり、病院からの相談が増えていることが要因のひとつであると説明

した。

- 成年後見制度に関する相談では、どのような相談が多いのかという質問に対して、事務局より、最近では、家族からの相談が多く、高齢者ご本人の「お金を使いすぎる」、「金銭管理が不適切」であるため成年後見に関する相談が多く見られていることを説明した。

議事2 平成28年度向日市地域包括支援センター事業方針について

(要点)

- 事務局から、資料2により、今年度の地域包括支援センターの事業方針案として、地域ケア会議の活用による多職種連携の強化、認知症高齢者の支援強化、介護予防・日常生活支援総合事業への円滑な移行の3点を重点的に取り組む項目として説明を行った。引き続き、各地域包括支援センターの現状と今後の課題及び具体的な取り組みについて、それぞれの地域包括支援センター担当者から説明を行った。

(主な意見)

- 事務局の説明に対し、委員から次のとおり意見があった。
- 地域住民の皆さんとの連携を進めていくうえで、介護予防に関する勉強会などを行い、意見交換などを通じてより身近な関係づくりを試みてはどうか。
 - 市と地域包括支援センター間で行う地域包括支援センター連絡会議に係る機関の専門職の方々も参加してもらおうと情報共有などが充実するのではないか。
 - 地域包括ケアのためのネットワーク構築を進めていくためには、地域包括支援センターだけでは困難であると思うので、市の地域福祉課等と共同で進めたいほうが良いとの意見があり、事務局としても、地域福祉課や向日市社会福祉協議会などと協働して、その他の関係機関や地域住民の皆様と共に地域包括ケアの実現に向けた有機的なネットワークづくりに取り組んでいく方針であることを説明した。

(今後の予定)

- 次回の運営協議会は、平成28年の7月頃に開催予定である。